

縄文杉北側デッキの代替デッキについて（進捗状況の報告）

九州地方環境事務所

1. これまでの経緯

- ・ 3 月 26 日に地域関係者（関係行政機関、屋久島町議会、屋久島観光協会）による現地検討を実施。
- ・ 4 月 28 日に現地検討の結果を共有。
- ・ 6 月 27 日に設計業者が株式会社南日本技術コンサルタンツに決定。
- ・ 7 月 18 日より縄文杉周辺の測量を開始。
- ・ 8 月 22 日に設計業者が設計図案を提出

2. 最新の設計図案について

- ・ 8 月 22 日の設計図案では地域関係者との協議や現地検討を踏まえて設計するように指示していたが、検討結果を踏まえた設計となっていないため、以下のとおり再設計を指示。
- ・ 環境省からの指示概要。
 - 1) 腐朽枝の落枝時の安全性を確保するため、地域関係者との検討結果を踏まえて、縄文杉から 25m 以上離れた位置にデッキを設置すること。
 - 2) デッキはなるべく一かたまりの形状とし、長方形的な形状となる場合は長辺を縄文杉に向けるようにすること。
 - 3) 見学者の動線が交錯しないように、デッキへの入口と出口は、離れて設置すること。
 - 4) 縄文杉の幹については、実寸大で表現できるよう形状を検討すること。ただし、工法上の理由で困難であれば要相談。
 - 5) 修正後の案については、現地での展望と動線を実際に確認したい。
- ・ 10 月 2 日に上記の指示を踏まえた、修正図案を設計業者が再提出（別添）

3. 今後について

- ・ 検討結果を踏まえることを前提にしつつ、施設としての安全性、利用動線等を考慮した利便性及び自然環境下における工作物としての意匠を考慮した環境省案を決定。
- ・ 地域連絡会議及び科学委員会に情報提供するとともに、地域関係者への説明の機会を設けて、設計図面として確定。
- ・ 設計業務の履行期限は 12 月末。